

## 海況・魚群速報(別府湾・国東半島沖合の海洋調査結果)

平成20年11月13日  
大分県農林水産研究センター  
水産試験場

県水産試験場の調査船「豊洋」による別府湾・国東半島沖合の海洋調査結果は、次のとおりである。

調査日： 11月10～13日

## 【海況】

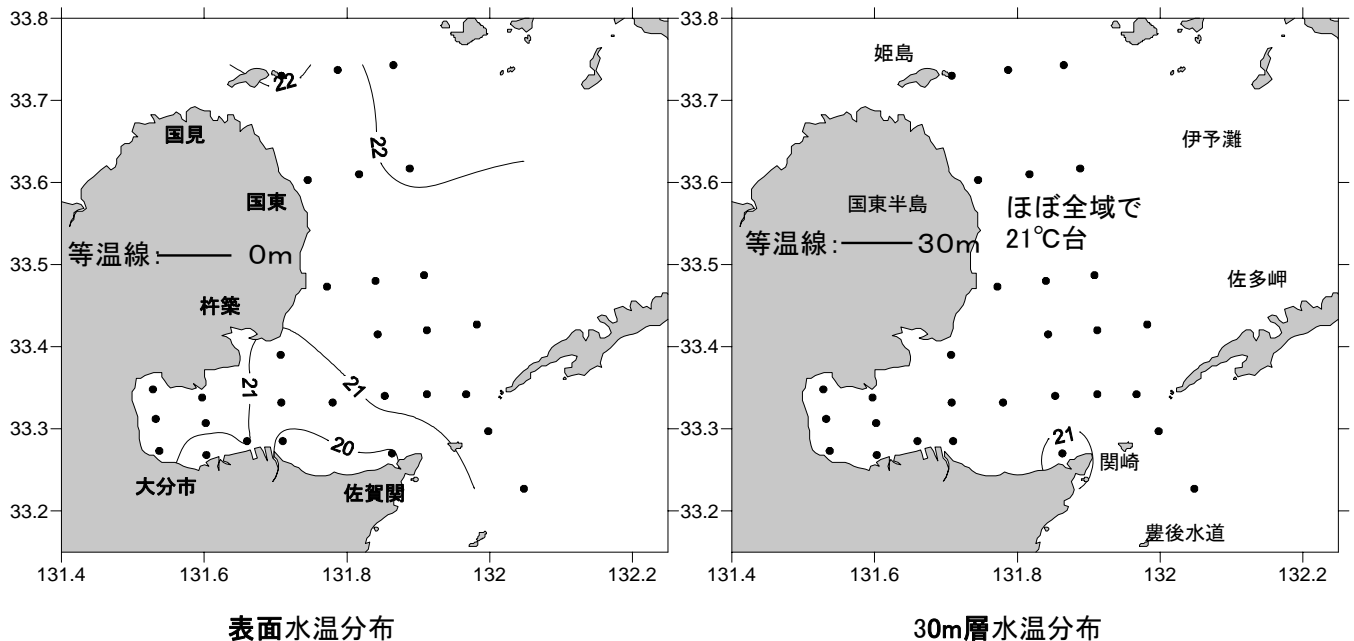
(別府湾の平均水温)

海域	水層	今月	前月差	前年差	平年差
別府湾	表面	20.8	-2.8	-1.1	-0.1
	底層(-30m)	21.5	-2.7	-0.8	+0.4

(国東半島沖合の平均水温)

海域	水層	今月	前月差	前年差	平年差
国東半島 沖合	表面	21.6	-2.3	-0.2	+0.9
	底層(-30m)	21.2	-2.4	-1.0	+0.5

(水温分布)



## 「海況概要」

水温は平年並み～やや高め傾向。

別府湾・国東半島沖合の表面水温は19～22℃台を示し、別府湾では前年より1.1℃低めで、平年並み(-0.1℃)。国東半島沖合では前年並み(-0.2℃)で、平年より0.9℃高めであった。

水深30m層は20～21℃台を示し、別府湾では前年より0.8℃低めで、平年並み(+0.4℃)。国東半島沖合では前年より1℃低めで、平年より0.5℃高めであった。

(黒潮情報：漁業情報サービスセンター)

11月13日の観測によると、九州東岸沖の黒潮内水温は25～26℃を示し、前年同期並み。黒潮は都井岬、足摺岬沖ともに接岸している模様。

## 【魚群分布】

主な魚群の出現状況は、下表及び下図のとおりである。

s20-11号

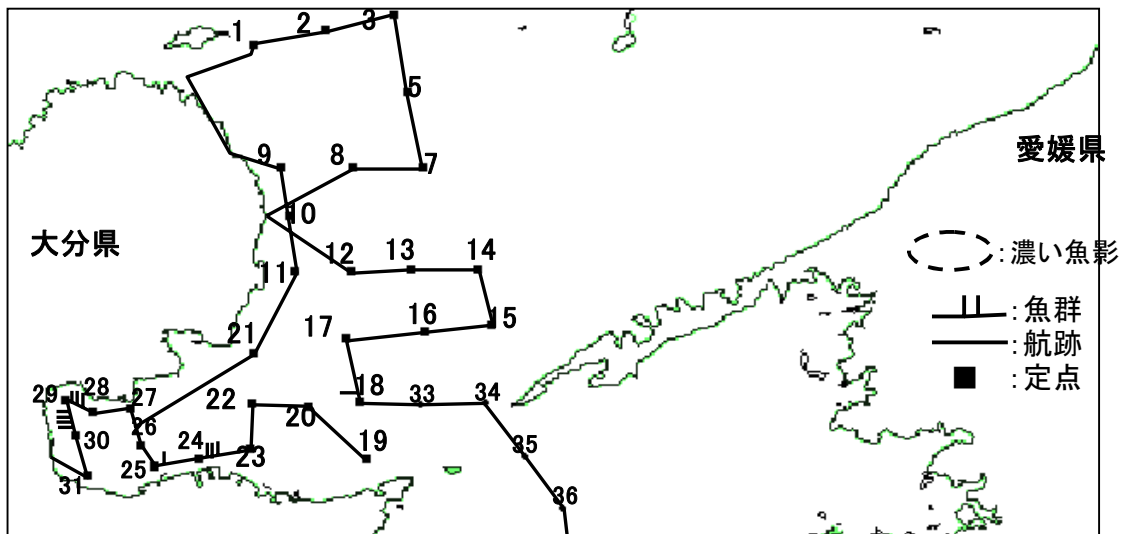
昨年同期の調査時に比べて、魚群の出現数は少なかった(但し、調査船直下の観測による範囲内)。

(魚群の出現状況)

日	時刻	魚群の状況					水温 °C	水深 m	魚の体長* cm
		位置	大きさ	出現個数	反応水深(m)*	密度			
11/10	13:03 ~	st. 23-24	小	3	40-B	中	21.6	45	4-7
11/10	13:23	st. 24-25	小	1	40-B	中	20.2	45	14
11/10	14:17 ~	st. 28-29	小	3	B	淡	21.8	37	4-7
11/10	14:35 ~	st. 29-30	小	多数	25-40	中	21.9	52	4-7
11/13	11:58 ~	st. 18付近	小	1	5-70	淡	21.2	82	4

\* 反応水深のうち、Bは底

\* 魚群の構成主体となった魚の体長(計量魚探により算出された推定体長cm)



## 【クラゲ分布】

調査定点上における目視観察では、クラゲ類は確認されなかった。